



相手選手とボールを奪い合う葛巻中学校の選手（青いユニフォーム）

サッカー町長杯開催 葛中イレブンが熱戦

7月10日、総合運動公園で第7回葛巻町長杯U-15サッカー大会が開催され、葛巻中学校のほか、盛岡市や二戸市などから6チームが出場し熱戦を繰り広げました。

選手らは巧みにパスを回し、時に激しくボールを奪い合いながらゴールを狙っていました。星野智哉さん（葛巻中2年）は「自分たちの強みは皆で守り抜くディフェンスです。新人戦に向けて、もっと声を出して攻撃力をつけていきたい」と今後の目標を掲げていました。

大会の結果は、福岡中学校が優勝しました。

元木でホタル観賞会 保護の意識を高める

7月10日、元木でホタルの鑑賞会が行われ、児童生徒や住民など約30名が参加しました。

講師の齊藤政宏さん（たきざわ環境パートナー会議ホタル探検隊リーダー）が、元木地区に生息するホタルの種類や生態について解説。参加者らは水辺でホタルが光を点滅させながら飛び交う様子を見て歓声を上げていました。齊藤さんは「元木のホタルは河川工事で一度は減りましたが再び数が増えてきました。地域が自然との共生に取り組んだ結果です」と語り、参加者は保護への意識を高めた様子でした。



ホタルの生態を学ぶ参加者と観察したヒメボタル（円内）

江刈小が舞台の絵本 全国課題図書に選定

江刈小学校（小室好司校長、児童26人）が舞台となった絵本「わたしたちのカメムシ図鑑～やっかいものが宝ものになった話～」が第67回青少年読書感想文全国コンクールの課題図書に選ばれました。

この絵本は、江刈小学校の児童らが地域に生息するカメムシを調べて図鑑を作った活動を取り上げた絵本です。4年生の岩脇咲希さんと日向佑実さんは「全国の小学生が江刈小学校を知るので嬉しい」「ぜひみなさん読んでみてください」と本を手に語りました。



課題図書になった絵本を手にする佑実さん①と咲希さん



住民会計課でメモをとりながら仕事の内容を学ぶ児童

葛小2年が役場見学 自分との関わり探す

6月24日、葛巻小学校（佐々木美江子校長、児童101人）の2年生16人が、町の仕事と自分たちの暮らしとの関わりを調べるため役場を訪れ、各課を見学しました。

児童は職員から仕事の説明を受けると、「ごみのお仕事をしている人はどなたですか」と尋ねたり、事務機器を見て「これは何に使う機械ですか」と熱心に質問し、職員は分かりやすく丁寧に答えていました。児童は、役場の仕事に関心を持つとともに、自分の暮らしにどのように関わっているか調べ、学びを深めたようでした。

社会を明るくする運動 保護司らが呼び掛ける

6月26日、総合運動公園で「社会を明るくする運動」の啓発活動が行われました。

活動には保護司や更生保護女性の会、人権擁護委員など関係者14人が参加し、青少年健全育成ミニサッカー大会に参加する親子にチラシやうちわなどを配布し、犯罪や非行の防止を呼び掛けました。保護司の長岡功さんは「子どもが明るく幸せな家庭で育つことが、犯罪のない社会につながります。町の子どもたちに素直に育てほしい」と語り、子どもの健やかな成長と明るい社会の実現に願いを込めていました。



親子に犯罪や非行の防止を呼び掛ける保護司の皆さん

中学生が仕事を体験 働くイメージ広げる

7月5日から6日、葛巻中学校（菊地正道校長、生徒54人）の3年生15人が、町内の事業所で職場体験を行いました。

小屋瀬保育園で保育の仕事を経験した田澤和珠さんは、園児の身の回りの世話や遊びをサポート。和珠さんは「子どもは日によって機嫌や体調が変わるので、登園時に様子をよく観察して接し方を変えることを教わりました。保育士は子どもの成長を間近で見られるのが魅力だと思います」と保育の仕事に理解を深め、働くイメージを広げたようでした。



小屋瀬保育園で園児の野菜の収穫を手伝う和珠さん②